

2019 年度 4 回外洋常任委員会  
議事録

日 時 : 2020 年 1 月 16 日(金) 18:22-20:00

場 所 : トーヨーアサノ会議室(新宿区新宿 5-13-9 太平洋不動産新宿ビル6F)

出席者 : (理事)

馬場益弘副会長、中澤信夫副会長、坂谷定生常務、平松隆、菊池邦仁、作田智恵子  
(委員会)

ルール委員会外洋規則小委員会委員長 大村雅一

外洋計測委員会委員長 八木達郎

国際委員会外洋小委員会委員長 小林 昇、委員 鈴木一行

外洋安全委員会委員長 大坪 明

キールボート委員会委員長 金子純代

ジャパンカップ委員会、オリンピック外洋小委員会委員長 植松 眞  
(オブザーバー)

オリンピック外洋小委員会 服部好彦

(順不同、敬称略) 計 14 名

議長 常務理事 坂谷 定生

記録 事務局 作田 智恵子

## I. 挨拶

馬場副会長より、新年の挨拶があり、その後議長として坂谷常務理事が指名され、議事に入った。

## II. 議事

### 1. 理事選挙の対応について

坂谷常務理事より今回の理事選挙についての日程や選挙方法は前回同様の方法である旨説明があった。

### 2. 2020 世界選手権に向けての取り組みについて

2020 世界選手権に向けての取り組みについて

ヨーロッパヨーロッパは予選があるが、アジアは予選無しで99%日本の予選は免状となる方向。

これにより急ぎ国内選考レースを開催する。実行委員長は八木氏。1 月末までに簡単なチラシを作りレースでの予算階の案内を作成する。

急ぎ公示を作成発表、レースは 5 月開催の予定。エントリーが 1 艇でもレースは行う。

万が一不成立の場合は、書類選考もある。

2020 外洋世界選手権(ミックスツーパーソン)の内容

2020 年 10 月 17 日スタートで 500 マイル。使用艇 LUKA30 (チャーター艇)

参加エントリー資格:1. 男女 2 名でエントリー

2. MNA の国籍を有するもの。

競技者の資格要件:1. JSAF の会員であること。

2. 2 人乗りオフショアレースで連続最低 200 マイルを乾燥していること。

3. WS サバイバルコースを修了していること。

4. OSR 認定の救急救命講習コースを完了していること。

など、クリアしていること。

3. 外洋艇推進グループ:2020 年度事業計画および予算案について

事業計画案:外洋常任委員会、外洋計測委員会、外洋安全委員会、ジャパンカップ委員会、アメリカズカップ委員会から案の提出があった。(配布資料参照)

予算案も提出され確認した。世界選手権の費用はオリンピック強化委員会より計上される。

4. パラオ国際親善レース報告について

優勝艇はテティス、これに対し、総務委員会から表彰(栄光賞)に対するので、検討し、書類を提出するように要請があった。審議の結果、栄光賞で申請することとした。また、大会開催に尽力した藤木氏に対し感謝状を贈ることとした。

5. ジャパンカップ 2020 について

2020 年度は検討するとしていたが、関係各方面への働きかけをすると共に、委員会で協議したが、当面開催を見送ることとした。通知はこれから作成してアップする。

6. 2020 年東京オリンピック応援フラッグリレーについて

福井から九州まで未走破で、検討はしているが今のところ進展はなく、引き続き交渉を続ける。一方で4枚のフラッグを最終的には組織委員会あるいは東京都に届けたいので、調整をしているところである。

7. 艇登録ワーキンググループ報告

今回外洋登録艇の整備をしている中で、支援艇について、2 つの方法で受け付けている事実があった。

エンジンボートでもセールナンバーの艇と同じようにセールナンバーを発行しての登録。

別途管理番号を発行しての登録、ただし管理番号の統一がない。

現行の外洋艇登録規則に、以下標記があるので、これにより、セールナンバーでの管理とする。

第2条（登録の条件）

連盟に登録する艇は、次の条件を満たすものでなければならない。

(3) 連盟の活動に賛同するモーターボートは、エンジン付き艇として登録することができる

(セール番号の交付を受ける)。この制度を支援艇登録といい、以降同じ条文を当てはめる。

8. 2020 年度の外洋レースの予定について

沖縄レース 4 月 26 日～5 月 8 日

パールレース 7 月 23 日～26 日

ミドルボート選手権(東海) 7月18日～19日

9. 専門委員会報告

(ア) ルール委員会外洋規則小委員会

World Sailing が RRS 付則 RV「視界不良時における競技規則」をアップした。

これまで夜間については RRS 第 2 章航路権規則に換えて海上衝突予防法を適用していた。現行ルールでは切り替えたらずべて法規通りの適用で、RRS18 条は残したいと思っても残すことができなかつた。今回、この不都合を解決するための規則です。

和文でのアップは作業中。日本の外洋レースでは、夜間は海上衝突予防法適用とこの付則 RV 適用をどう使い分けるかルール委員会外洋規則小委員会で検討中。

(イ) 外洋安全委員会

●カテゴリー3 において AIS 搭載が必須となった。

・World Sailing は該当項目の改訂理由を 4 つ示している。

そのうちのひとつ「AIS-MOB の普及」とあるが、現状日本では AIS-MOB は使用できない。

・レース公示に何も書かないと「AIS」は義務づけとなるので、レース主催者は注意してください。レース公示の変更はレースの状況と現状を理解した上で判断ください。

(ウ) 外洋計測委員会

今回の事業計画、予算は、IRC と ORC を合算したものを作成した。

(エ) ルール外洋小委員会

RRS のスピネーカーのゴムや毛糸で縛っていて、ゴミとして海に落ちてしまうことがあり、今はルールを緩め OK だが、今回の改正で緩めることが出来なくなった。

視界不良時についての規定が新しく出てきており、合同委員会会議でお知らせしたい。

(オ) キールボート強化委員会

2020 年の大学選手権も JOC から支援を受けることになったので、今年もいい競技会にしていきたい。

10. 外洋団体長会議の議題調整について

上記議題で資料を作成する。

11. その他

鈴木一行氏より、海洋プラスチック問題について、団体長会議の関で 20 分ほど発言したいとの申し出があった。これについては 9 月に横浜で開催の団体長会議で時間を設けることとした。

以上